

記 者 発 表 （資料配布）				
月 日	担当課 (班名)	T E L	発表者 (担当主幹名)	その他 発表先
1 / 10 (金)	体育保健課 (保健安全・食育班)	(内線) 5780 078-362-3789	課長 山根 尚 (主幹 岩木 秀諭)	

令和元年度公立小・中学校における体育大会（運動会）での組体操事故等調査

標記の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

- 1 調査実施期間 令和元年 10 月 30 日～11 月 29 日
- 2 対 象 県内公立小・中学校 <神戸市除く>
(令和元年度実施の体育大会(運動会)当日及び練習期間)
- 3 調 査 結 果 別紙のとおり
- 4 今 後 の 取 組 組体操の重傷事故の根絶を図るために「組体操での事故防止に向けた指導上の留意点(平成28年3月29日付通知)」に加え、下記の点を通知（令和2年1月8日付け）し、適切に実施されるよう引き続き周知徹底していく。
 - ①市町組合教育委員会においては、実施計画書を確認し、安全に実施できる内容となっているか十分に点検し、実施計画の未作成など指導体制が整わない場合は中止させるなど、指導を徹底。
 - ②各学校は実施のねらいを十分に踏まえた上で、計画段階で十分に検討し、校長の責任の下で組織的な指導体制を構築し、児童生徒等の安全確保を最優先で実施。
 - ③組体操の内容については、児童生徒の実態を明確に把握したうえで、適切に実施。大きな事故につながる可能性がある組体操の技については、できないと判断される場合には実施を見合わせること。
 - ④ピラミッド、タワーについては、独立行政法人日本スポーツ振興センターが発行している「体育的行事における事故防止事例集」の内容に留意して実施。

令和元年度公立小・中学校における体育大会（運動会）での組体操事故等調査結果

- **重症事故**は、15件（小7、中8、高0）で、H30年度より1件減。

〔3年前との比較〕

- ・ 小学校：H29（23件）⇒R1（7件）69.6%減
- ・ 中学校：H29（23件）⇒R1（8件）65.2%減
- ・ 高 校：H29（1件）⇒R1（0件）100%減
- 全 体：H29（47件）⇒R1（15件）68.1%減

※ 11市町で発生しており、明石市の小学校2件、中学校1件の計3件、加古川市の中学校3件が複数発生しており、その他の市町は1件ずつ。残り29市町では重症事故は発生していない。

- **重症事故の内容**

- ・ 隊形移動中に友達に足をぶつける(小)骨折1件
- ・ 倒立練習で、倒立から戻るとき（地面に着地時）（小1件、中1件）骨折2件
- ・ 肩車でパートナーを持ち上げる際に背中を痛める（小）背中を痛める1件
- ・ ブリッジをした際に腰を痛める（小）腰椎捻挫1件
- ・ ピラミッド完成後、降りるときに土台の生徒の足を踏み左足関節を捻った（中）骨折1件
- ・ 残り9件は、二人組・三人組等の演技における落下や転倒の際、手をついて骨折

- **R1組体操におけるケガの総数**

- ・ 小学校207件（H30 169件）+38件
- ・ 中学校 99件（H30 116件）-17件
- 合 計306件（H30 285件）+21件

〔3年前との比較〕

- ・ 小学校：H29（224件）⇒R1（207件）7.6%減
- ・ 中学校：H29（198件）⇒R1（99件）50.0%減
- 全 体：H29（422件）⇒R1（306件）27.5%減

※昨年度までは、日本スポーツ振興センターに申請するもの（5,000円以上の医療費がかかったもの）のみを対象としていたが、今年度からは、センターに申請されていないレベルのものも報告させているため、昨年度に比べて件数の増加につながっている。

⇒ 組体操で発生したすべてのケガを把握したいという思いに加え、軽微なケガも報告させることで、事故発生の抑止力になると考えている。